

名護市東沿岸部における海兵隊MVオスプレイの墜落に対する抗議決議

去る12月13日、米軍普天間飛行場所属の海兵隊MVオスプレイが夜間飛行訓練中に、名護市安部の沿岸部に墜落した。沖縄県警や防衛省は「不着」と公表したが、墜落現場は機体が大破し、プロペラや胴体がちぎれ散乱する様子がマスコミで報道された。また、同日、普天間飛行場でも別のオスプレイが胴体着陸する事故が起きた。

墜落現場は安部集落と目と鼻の先での事故であり、あわや住民をも巻き込む大惨事になりかねなかった。開発段階から、その危険性が指摘されてきたMVオスプレイの米軍普天間基地への配備は、沖縄県議会をはじめ前41市町村議会が配備への反対を決議する中、県民の意思を無視する形で2012年10月、2013年夏に相次いで24機が日米両政府によって強行配備された。

現在、普天間基地を拠点とするMVオスプレイは本町空域をはじめとして中部地域から名護市、北部の高江ヘリパッド周辺など昼夜を分かたず我が物顔で飛び交い、県民は日常的に激しい騒音と墜落の恐怖にさらされている。

今回の事故に関する米軍の態度は、まさに植民地的な対応で、安慶田副知事の抗議に対して、謝罪どころか、在沖米軍のトップであるニコルソン在沖米軍調整官は、「被害を与えなかったことは感謝されるべき」と県の抗議に反発した。沖縄住民の安心安全な暮らしと生命財産をまったく顧みない、軍事優先の米軍・米国民政府に対し強い憤りを覚える。

このような米軍・米国民政府と軌を一に、名護市辺野古新基地や高江ヘリパッド建設にみられる、県外機動隊数百名を動員しての、沖縄への基地の集中・固定化を強行する日本政府の姿勢も断じて容認できるものではない。

よって本町議会は住民の生命と財産並びに安心安全な暮らしを守る立場から、今回の海兵隊MVオスプレイの名護市東沿岸部における墜落事故に厳重に抗議し、下記の事項を強く要求する。

記

1. オスプレイの即時飛行停止と墜落の原因究明につとめること。
2. 戦後70余年、沖縄住民は米国民政府と日本政府の共同管理下で、常に軍事基地との共生を強いられ、数多くの人権侵害と事件事故にさらされてきた。私たちは人間らしく生きる当然の権利として在沖米軍基地の大幅な削減を強く求める。
3. 在沖米軍基地の大部分を占有し、数多くの人権侵害と事件事故の温床および沖縄の経済発展の最大の阻害要因となっている海兵隊の完全部隊の完全撤去及びMVオスプレイの配備の撤回を強く求める。

以上、決議する。

平成28年12月16日

沖縄県西原町議会

宛先 米国民大統領、駐日米国民大使、在日米軍司令官、在沖四軍調整官、在沖米国民領事

【賛否一覧】

	宮里芳男	真栄城哲	伊計裕子	与儀清	宮里洋史	屋比久満	伊波時男	長浜ひろみ	上里善清	大城誠一	呉屋悟	儀間信子	平良正行	大城純孝	大城好弘	喜納昌盛	与那嶺義雄	前里光信	新川喜男	
賛否	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

意見書第7号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書
意見書第8号	教職員定数法改正等による「30人以下学級完全実現」のための意見書
意見書第9号	「義務教育費国庫負担制度」の堅持・拡充に関する意見書
意見書第10号	「幼稚園・就学前教育」義務教育化・無償化の早期実現を求める意見書
意見書第11号	名護市東沿岸部における海兵隊MVオスプレイの墜落に対する意見書
意見書第12号	子どもの医療費助成への「罰則」廃止と国の制度化を求める意見書

西原町海外移住者子弟研修制度の存続を求める決議

(提案理由)

西原町は、これまで27年間にわたって実施してきた「西原町海外移住者子弟研修受入事業」を次年度から休止する決定をした。その主な理由が身元引受人の高齢化と研修企業先の確保が困難、の二つである。

しかしながら、このような課題は、この種の事業を実施する多くの県内市町村に共通する課題である。いったん休止した事業の再開の困難さや事業の意義を熟慮すれば、すぐに研修制度の休止ではなく、世界のウチナーンチュ大会で5年後の再開を誓った関係市町村や県も含めた課題解決に向けた取り組みが重要である。

現行の同事業の実施要綱を厳格に工夫適用すれば、事業実施に伴う行政の負担もかなりの改善が見込める。世代を超えウチナーンチュ・アイデンティティに思いをはせる南米移住者子弟のためにも制度を存続し、扉を開いておく必要がある。

よって、本案を提案する。

反対討論

決議第4号に反対の立場から討論します。存続と課題を実際どのように認識しているのか、認識の差があると思います。例えば予算として3月に出てくると思うが、費目存置として残し、課題を解決した後に、速やかに再開すべきという話に、持って行きたいと思いません。今回の決議、内容はわかります。しかし課題解決が必ずできるのか。そこが不安なので反対討論とします。

賛成討論

決議第4号に賛成の立場から討論します。休止決定はあまりにも唐突であり、10月29日の琉球新報の休止報道がなければ、知りえなかったかもしれません。新聞報道では、町長は「次年度予算で検討します。」と言ったのです。ところが、2016年3月3日の文書で先方に「休止」の文書を送付している訳です。とにかく事業としては、門戸を開けておくことが大事だという認識です。存続を次年度予算3月を期待していますので、議員各位もしっかり見定めるといふことで、賛成討論といたします。

【賛否一覧】

	宮里芳男	真栄城哲	伊計裕子	与儀清	宮里洋史	屋比久満	伊波時男	長浜ひろみ	上里善清	大城誠一	呉屋悟	儀間信子	平良正行	大城純孝	大城好弘	喜納昌盛	与那嶺義雄	前里光信	新川喜男
賛否	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	議長